

追手門学院
中・高等学校

Smart Palette

新キャンパス
誕生

新キャンパス「スマートパレット」。
「いつでも、どこでも学べる」
新たな空間が未来を切り拓く。



01

「新たな学び方」に
応じて「教室の形」を
自由にアレンジできる。

スマートパレットでは、文字通り生徒の多様な個性が混じり合う仕掛けに満ちています。教室はすべて可動式。仕切りを取り外した一体的な使用や少人数によるグループワークなど、「個別型」「協働型」「プロジェクト型」それぞれの学びに対応し、自在に教室の形をアレンジできるという従来の教室の概念をくつがえした構造になっています。これにより知識の詰め込みだけではなく、生徒が主体的に行動することで、未来社会が求める様々な力を養わせます。

02

「脱教室」、「脱図書室」を
テーマに各階に
図書スペースを配置。

追手門学院中・高の新しい「教育観」「授業観」「生徒観」を反映し、「脱教室」「脱図書室」をテーマに掲げ、実際に従来型の図書室をなくしました。その代わりに1階から4階の各階に、フロアごとのテーマに沿った書籍や映像などを取り揃えた図書スペース「ポート」を設置。学校全体が図書館ともいえる校舎になっています。このように新校舎は、教室の中だけでなくいつでも、どこでも学ぶことができるまったく新しい学習空間として整備されています。

7月28日(土)に安威キャンパスお別れ会「追手門学院中・高等学校の将来を考える会
～安威への感謝と総持寺への希望～」を開催しました。詳しくはP19をご覧ください。

追手門学院中・高等学校の教育実績

追手門学院中学校
【特選SSコース】

中学3年時での、英検
準2級(高2修了レベル)
の取得率

2期生(現高1) **72.2%**
全国の高校3年生の
準2級取得率※ **13.0%**

※[2016(平成28)年度 英語教育実施状況調査(高等学校)の結果]文部科学省

追手門学院高等学校【特選SS-I類コース(国公立大進学コース)】

国公立大 合格者(防衛大学校一次合格含む)

48名 約2人に1人が
国公立大合格

追手門学院
小学校

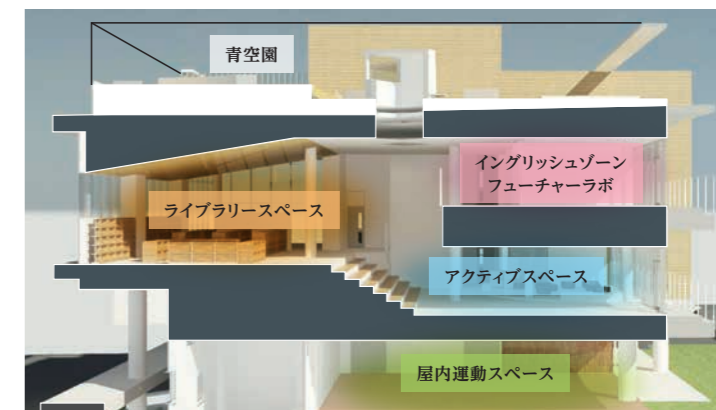
Media Lab

新東館(メディアラボ)
誕生

次世代教育を実現する
英語・ICT教育活動の拠点、
新東館「メディアラボ」が誕生。

スキップフロア構造により
連続した広大な学習空間。

2019(平成31)年3月竣工の新東館「メディアラボ」は地上3階・地下1階の構造。うち2・3階はスキップフロア構造により連続した広大な学習空間となっています。アクティブ・ラーニングに最適で壁がほとんどない2階と、中2階ライブラリースペースは大階段により簡単に行き来が可能。さらに吹き抜けを上がった3階にはイングリッシュゾーンおよびフューチャーラボを設置。これらを有機的に連続させ、主体的・対話的で深い学びを促す未来型学習拠点を実現します。



基礎力・思考力・実践力を育む未来型学習施設。

フューチャーラボ



2階と3階に設置され、それぞれ150インチ・220インチの大スクリーンと、120インチ×2面の大型電子黒板を備えています。映像投影やプレゼンテーション、実物大を感じることができるダイナミックな体験型学習などが可能です。

アクティブスペース



主体的・対話的で深い学びを実現するための自発的学習(アクティブ・ラーニング)を実践的に行える広いスペースで、1学年約140人が収容可能です。ライブラリースペースに続く大階段はプレゼンテーションにも利用できます。

メディアスペース



2階と3階のフロア入口にあり、児童の興味を惹きつける展示を可能とする映像資料などを揃えています。授業以外の時間でも様々な資料・教材に触れることができ、また英語やICT専門教員との自由な触れ合いの場となります。

ライブラリースペース



中2階のワンフロアに設置され、およそ2万冊を収蔵する図書スペースを確保しています。情報収集はもちろん、グループワークなど総合的な学習の場としても機能。開放的な空間でより一層本に親しむことができます。

おうてもん石垣ギャラリー

1985(昭和60)年、旧東館の建設時に、地下から豊臣大坂城時代の石垣が発掘されました。30年以上非公開となっていた貴重な歴史遺構を活かすため、今回の建設により「おうてもん石垣ギャラリー」として整備。追小のシンボルでもある大阪城の歴史を身近に感じることができましょう。また、ギャラリーは一般の方も歩道側から自由に見学できる予定です。



小学校130周年式典兼東館竣工式 2019(平成31)年3月21日(木・祝)